



▲市場関係者に白河産の農産物をPRする鈴木市長

大田市場で農産物のトップセールスを実施
白河産の農産物をPR

5月10日、東京都中央卸売市場の大田市場で、JA夢みなみの主催により、農産物の安全性と新鮮さ、おいしさをPRするトップセールスが行われました。この催しは、風評の払しょくと消費拡大を目的に行われているもので、今回で6回目の開催となります。

当日は、鈴木市長をはじめ西白河地方の町村長などが市場関係者に、ブロッコリーやフルーツトマトなどの試食を振る舞い、検査結果に基づく安全性と、それぞれの野菜の特性や味の良さを直接伝えました。



▲左から高橋さん、鈴木市長、中村さん、清原さん

中山義秀文学賞選考委員委嘱状交付式
直木賞作家高橋さんらが選考委員に

5月11日、ホテルサンルート白河（新白河駅前）で、「中山義秀文学賞選考委員委嘱状交付式」が行われました。

選考委員は、直木賞受賞作家の高橋義夫さん、第1回中山義秀文学賞を受賞した直木賞受賞作家の中村彰彦さん、文芸評論家の清原康正さん、第9回中山義秀文学賞受賞作家の竹田真砂子さんの4人です。

交付式では、中山義秀顕彰会会長の鈴木市長から、参加した高橋さん、中村さん、清原さんの3人に委嘱状が手渡されました。



▲激励会の様子

熊本地震職員派遣激励会
住宅被害の認定調査に携わる

5月13日、熊本地震で被災した嘉島町に職員を派遣するための激励会が行われました。

派遣された職員は、税務課資産税係の白石潤一主査と財政課管財係の大谷修一主査の2人で、5月14日から18日までの5日間、り災証明書等の発行に必要な住宅被害の認定調査に携わりました。

市では、義援金を本庁舎社会福祉課・各庁舎地域振興課の募金箱で受け付けています。お預かりした善意は、日本赤十字社を通じて被災地に届けます。ご協力お願いします。



1. 来場者と交流をしながらパレードをする、しらかわんをはじめとするキャラたち 2. 今回初登場のねば〜る君 3. ふにゃっしーのステージ 4. 鈴木市長から修復状況の説明を聞くくまモン

ご当地キャラこども夢フェスタinしらかわ2016
好天に恵まれた2日間。約18万5千人が来場

5月21日・22日の2日間、今年で4回目となる「ご当地キャラこども夢フェスタinしらかわ2016」が行われ、全国から計182体のご当地キャラクター（以下キャラ）・ヒーロー・萌えキャラが集まりました。

2日間とも好天に恵まれ、昨年を上回る約18万5千人が訪れました。会場には4つのステージが設けられ、お目当てのキャラを一目見ようと大勢の人でにぎわいました。

本イベントの目玉である「大パレード」では、約130体以上のキャラが小峰通りを練り歩き、沿道から

は声援が送られ、来場者はキャラとの交流を楽しみました。

21日には、くまモンが登場。体操を披露し会場を盛り上げ、熊本の復興に向けて元気な姿をアピールしました。また、前日の20日には、地震で石垣が崩壊した熊本城の再建に向け、東日本大震災で被災し修復作業が進む小峰城跡を視察しました。

さらに「第2回全国しゅうまいサミット」と「中テレ満ぶく祭り2016」の二大グルメイベントが同時開催され、香りに誘われた家族連れなどが列を作りました。



▲ステージで披露される三味線に聞き入る来場者

桜と音楽の祭典「春宴」
春の南湖公園を満喫

4月23日、南湖公園芝生広場で、「和」をテーマにした、桜と音楽の祭典「春宴」が行われました。

特設ステージでは、民謡や和太鼓演奏が披露されたほか、ライブアクトパフォーミングGRACが春の南湖公園や白河の風景を大型ボードに描きました。

また、会場では、白河だるまの絵付け体験や地元野菜を使用した料理が提供され、多くの来場者が春の南湖公園を満喫しました。ファイナルでは、花火が打ち上げられ、夜の南湖を彩りました。